

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	10,631
減価償却費	67,529
のれん償却額	4,334
引当金の増減額(▲は減少)	▲6,198
受取利息及び受取配当金	▲6,413
支払利息	4,765
持分法による投資損益(▲は益)	3,636
固定資産廃棄損	1,476
投資有価証券売却損益(▲は益)	▲2,218
売上債権の増減額(▲は増加)	171,975
たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲50,320
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲150,375
その他	▲58,653
小計	▲9,831
利息及び配当金の受取額	6,012
利息の支払額	▲8,663
法人税等の支払額	▲15,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲27,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	▲43,913
有形固定資産の売却による収入	4,903
無形固定資産の取得による支出	▲11,178
投資有価証券の取得による支出	▲4,137
投資有価証券の売却による収入	2,140
その他	▲1,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲54,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(▲は減少)	89,226
長期借入れによる収入	179
長期借入金の返済による支出	▲153
社債の発行による収入	34,388
社債の償還による支出	▲60,039
配当金の支払額	▲13,067
その他	▲10,887
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,647
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,035
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	▲40,151
現金及び現金同等物の期首残高	547,844
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	516,465

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

#### (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

#### (5) セグメント情報

##### 【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自2008年4月1日至2008年6月30日）

（単位：百万円）

	テクノロジーソリューション	ユビキタス プロダクト ソリューション	デバイス ソリューション	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	673,675	243,250	161,331	99,023	1,177,279	-	1,177,279
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	24,234	28,607	11,066	33,118	97,025	▲ 97,025	-
計	697,909	271,857	172,397	132,141	1,274,304	▲ 97,025	1,177,279
営業利益	8,205	9,976	▲ 4,786	5,184	18,579	▲ 12,767	5,812

注1) 事業区分は製品・サービスの種類及び販売方法等の類似性を考慮して区分しております。

2) 各事業の主要製品・サービスの内容は下記のとおりです。

##### 1. テクノロジーソリューション

システムインテグレーション（システム構築）、コンサルティング、専用端末装置（ATM、POSシステム等）、アウトソーシングサービス（情報システムの一括運用管理）、ネットワークサービス（情報システムに必要なネットワーク環境の提供及びネットワークを利用した各種サービスの提供）、システムサポートサービス（情報システム及びネットワークの保守・監視サービス）、情報システム及びネットワーク設置工事、各種サーバ（メインフレーム、UNIXサーバ、基幹IAサーバ、PCサーバ）、ストレージシステム、各種ソフトウェア（OS、ミドルウェア）、ネットワーク管理システム、光伝送システム、携帯電話基地局

##### 2. ユビキタスプロダクトソリューション

パソコン、携帯電話、HDD（ハードディスクドライブ）、光送受信モジュール

##### 3. デバイスソリューション

LSI（ロジックLSI）、電子部品（半導体パッケージ、SAWデバイス等）、機構部品（リレー、コネクタ等）

##### 4. その他

オーディオ・ナビゲーション機器、自動車制御用電子部品、プリント板

3) 19ページ「4. その他（2）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」（連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用、完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更）に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より会計処理基準を変更しております。これらの変更による各セグメントへの影響は軽微であります。

## 【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自2008年4月1日至2008年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	EMEA	米州	APAC・中国	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	804,080	164,329	100,741	108,129	1,177,279	-	1,177,279
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	122,504	2,291	4,932	81,165	210,892	▲210,892	-
計	926,584	166,620	105,673	189,294	1,388,171	▲210,892	1,177,279
営業利益	19,942	▲1,405	960	787	20,284	▲14,472	5,812

注1) 国又は地域の区分は地理的近接度及び事業活動の相互関連性を考慮して区分しております。

2) 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

1. EMEA（欧州・中近東・アフリカ）…………… イギリス、スペイン、ドイツ、フィンランド、オランダ

2. 米州…………… 米国、カナダ

3. APAC（アジア・パシフィック）・中国…………… オーストラリア、タイ、ベトナム、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾、中国

3) 19ページ「4. その他（2）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」（連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用、完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更）に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より会計処理基準を変更しております。これらの変更による各セグメントへの影響は軽微であります。

## 【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自2008年4月1日至2008年6月30日）（単位：百万円）

	EMEA	米州	APAC・中国	計
I 海外売上高	178,851	113,823	131,779	424,453
II 連結売上高				1,177,279
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	15.2	9.7	11.2	36.1

注1) 国又は地域の区分は地理的近接度及び事業活動の相互関連性を考慮して区分しております。

2) 各区分に属する主な国又は地域

1. EMEA（欧州・中近東・アフリカ）…………… イギリス、スペイン、ドイツ、フィンランド、オランダ

2. 米州…………… 米国、カナダ

3. APAC（アジア・パシフィック）・中国…………… オーストラリア、タイ、ベトナム、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾、中国

3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

4) 19ページ「4. その他（2）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」（完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更）に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より会計処理基準を変更しております。この変更による各セグメントへの影響は軽微であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

## ① 剰余金の配当

2008年5月23日開催の当社取締役会決議に基づき、剰余金の配当を行った結果、利益剰余金が10,345百万円減少しております。

## ② 海外連結子会社の国際財務報告基準（IFRS）適用

当社グループの海外連結子会社においては、2005年度の英国のFujitsu Services Holdings PLC（その連結子会社を含む）を始め、オーストラリア、シンガポールの子会社等で国際財務報告基準（以下、IFRS）を適用済でしたが、当第1四半期連結会計期間より全ての海外子会社に適用いたしました。当第1四半期連結会計期間より新たにIFRSを適用した海外子会社においては、会計処理基準の変更に伴い過年度に遡って会計処理が変更され、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金が1,585百万円減少しております。

## ③ 連結子会社の増加

主に㈱PFU、㈱富士通エフサス、富士通エフ・アイ・ピー㈱の非連結子会社を当第1四半期連結会計期間より連結子会社としたことにより、利益剰余金が7,027百万円増加しております。